

■教育目的

臨床検査技師国家試験受験に備え、臨床検査に関わる基礎および応用知識を定着させ、医療人としての実学に基づく専門能力を養う。特に生理検査および臨床検査総論を扱う。各検査領域で頻出問題を精選しそれらの要点をまとめ国試対策を行うための技術指導を行う。さらに、より実践的な視点から検査データを解釈する能力を習得する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-② YD-④ YD-⑥、SD-① SD-② SD-③】

■学習到達目標

1. 各生理検査の検査方法及び原理を理解できる(知識、技能)
2. 各生理検査における代表的検査所見を理解できる(知識、技能)
3. 臨床検査データの取り扱い、臨床検査技師の役割などを理解できる(知識、技能)
4. 臨床検査データの基準範囲をおさえ、疾患との関連性を理解できる(知識、技能)

■準備学習（予習・復習）

予習：教科書・参考書の記載に目を通しておくこと(30分以上)

復習：授業資料を再視聴し授業内で触れたキーワードを中心に発展的に自分でノートをまとめる(10分)。過去の臨床検査技師国家試験の当該領域に目を通し理解しておくこと(10分)。

■授業形態

課題解決型学習、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	心電図検査 1	臨床生理学総論、心電図①	
2	心電図検査 2	心電図②、運動負荷心電図	
3	超音波検査 1	超音波検査の基礎、心エコー	
4	超音波検査 2	消化器、肝臓、腎臓、胆嚢、膀胱、脾臓	
5	超音波検査 3	甲状腺、乳腺、骨盤内臓器エコー	
6	肺機能検査 1	呼吸機能検査	
7	肺機能検査 2	血液ガス、酸塩基平衡	
8	神経系 1	脳波検査、PSG	
9	神経系 2	筋電図、神経伝導検査	
10	臨床検査データの読み方 1	臨床検査総論	
11	臨床検査データの読み方 2	検査データの取り扱い	
12	臨床検査データの読み方 3	検査データの解釈の解説	
13	臨床検査データの読み方 4	検査データの解釈の解説	
14	臨床検査データの読み方 5	検査データの解釈の解説	
15	感覚器	平衡感覚、聴力、眼底、味覚	

■授業分担者

田中 千実(非常勤講師)(No.1～2、6～9、15)、櫻井 進(No.3～5)、國枝 泰希(非常勤講師)(No.10～14)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題 100 % (課題提出をもって出席確認を行う。課題内容にて成績評価する。)

■教科書

「最新 臨床検査学講座 生理機能検査学第2版」(医歯薬出版)

「最新 臨床検査学講座 病理学／病理検査学」(医歯薬出版)

■参考書

自作講義資料等